

# 第3章 | 計画の概要

## 1 基本理念

子どもは県民の宝物として社会全体で子育てを支援し、子どもの健やかな成長と子育ての喜びを、すべての県民が共感するための基本理念を設定します。



すべての子どもが  
「おかやまに生まれ、育ち、本当に良かった」  
と思える未来に向けて



## 2 基本的考え方

無限の可能性を秘めた子どもたちが、将来に夢を描くことができる社会を実現することは、県政にとっての重要な責務です。

保護者が子育てについての第一義的責任を有するということを基本的認識としつつ、子どもの幸せの視点に立って、次代を担うすべての子どもたちが、その最善の利益を確保されながら、心身ともに健やかに生まれ育ち、家庭や地域で心豊かに生活できる環境づくりを推進します。

また、子どもは社会が育てるとの認識のもと、岡山県の恵まれた自然環境や医療・教育環境等を最大限活用し、子育て家庭を中心として、行政はもとより、地域、企業、学校、ボランティアやNPO等、地域の様々な担い手が主役となって密接に協働しながら少子化対策・子育て支援に取り組むことにより、県民誰もが子どもたちの成長を喜び合える社会環境づくりを目指します。

## 3 体系

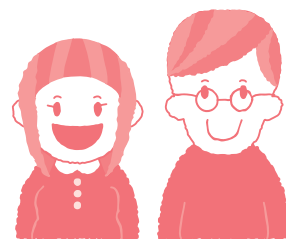
## Ⅰ 結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境の整備

## 1 若者のライフデザイン構築支援

- (1) 次代の親の育成
- (2) 若者の結婚に関する意識醸成
- (3) 妊娠・出産に関する正しい知識の普及と情報提供
- (4) 若者の就職支援

## 2 若者の結婚の希望をかなえる環境の整備

- (1) 多様な出会いの機会の提供
- (2) 結婚をサポートする体制の充実
- (3) 結婚・子育てに関する社会全体の気運の醸成



## 3 健やかな人生の基礎を築く母子保健の推進

- (1) 満足度の高い妊娠・出産・育児への支援
- (2) 妊産婦の健康や親子を見守りはぐくむ支援
- (3) 子どもの健やかな育ちと思春期からの健康づくりの支援

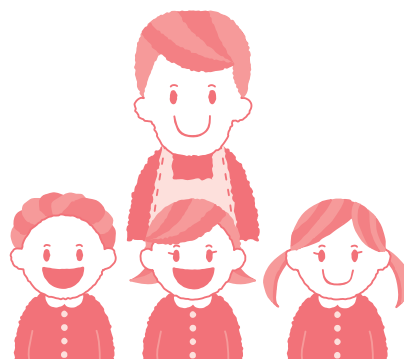
## Ⅱ 乳幼児期における教育・保育の充実

## 1 社会全体で子育てをする気運の醸成

- (1) 社会全体で子育てをする気運の醸成
- (2) 地域の教育力の向上

## 2 乳児期の保育、幼児期の教育・保育の充実等

- (1) 子ども・子育て支援新制度の推進等
- (2) きめ細かな保育の充実
- (3) 待機児童解消に向けた取組の推進
- (4) 保育人材の確保と資質向上
- (5) 就学前教育の質の向上
- (6) 岡山県子ども・子育て支援事業支援計画の推進



## 3 地域ぐるみの子育て支援の推進

- (1) 子育て支援ネットワークの充実
- (2) ふれあいの拠点づくり
- (3) 地域における人材の養成・確保
- (4) 経済的支援の推進

## Ⅲ 子どもと若者の成長を支援する環境の充実

## 1 学校教育の推進と家庭の教育力の向上

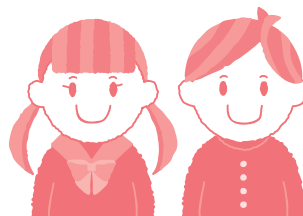
- (1) 学校教育の推進
- (2) 家庭の教育力の向上

## 2 放課後の居場所づくり

- (1) 放課後児童クラブの充実
- (2) 放課後児童支援員等の確保・育成
- (3) 新・放課後子ども総合プランの推進

## 3 地域・世代間交流の促進等

- (1) 地域・世代間交流の促進
- (2) 社会参加活動への支援



## Ⅳ きめ細かなサポートが必要な子どもや家庭への支援

### 1 社会的養育体制の充実

- (1) 子どもの権利擁護の推進
- (2) 市町村の体制強化に向けた支援
- (3) 里親、養子縁組等の積極的な推進
- (4) 施設の小規模化、地域分散化、多機能化等による専門機能強化
- (5) 自立支援の充実
- (6) 児童相談所の体制強化

### 2 子ども虐待防止対策の充実

- (1) すべての子どもが安心して暮らせる環境づくり
- (2) 子どもへの虐待の予防
- (3) 子どもへの虐待の早期発見・早期対応
- (4) 虐待を受けた子どもと家族への指導及び支援
- (5) 子ども虐待による死亡事例等の重大事例の検証

### 3 障害や困難を有する子ども・若者への施策の充実

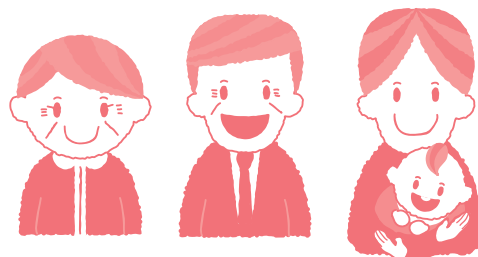
- (1) 障害のある子どもの支援
- (2) 発達障害のある子どもの支援
- (3) 困難を有する子どもや若者の支援

### 4 ひとり親家庭の自立支援

- (1) 相談機能の強化
- (2) 子育て・生活支援の強化
- (3) 経済的自立の支援
- (4) 就業支援の強化

### 5 子どもの貧困対策の推進

- (1) 教育の支援
- (2) 生活の支援
- (3) 保護者に対する就労の支援
- (4) 経済的支援



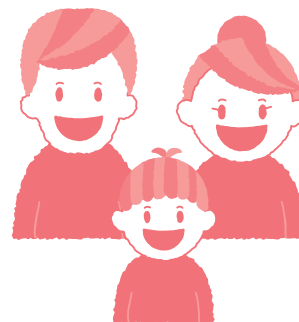
## Ⅴ ワーク・ライフ・バランスと子育てにやさしい環境づくりの推進

### 1 子育てと仕事が両立できる環境の整備 (ワーク・ライフ・バランス)

- (1) 企業の意識改革への取組
- (2) 出産・子育てがしやすい職場環境の整備
- (3) 男女共同参画による子育ての推進
- (4) 就労支援

### 2 子育て家庭の安心を支える医療体制の確保

- (1) 周産期・小児医療体制の整備
- (2) 小児慢性特定疾病の医療の推進
- (3) 感染症対策の推進
- (4) 病児保育の充実



### 3 安心して生み育てられる住生活の確保と子育て相談体制

- (1) 子育て世帯が安心して生み育てられる住生活の確保
- (2) 子育て支援情報の提供や相談体制の充実

### 4 安全・安心な子育て環境の整備

- (1) 食の安全・安心の確保、食育の推進
- (2) 安全な遊び場の整備
- (3) 安全な生活環境の整備
- (4) 安心な社会環境づくり

## 4 基本目標及び主要指標

### (1) 基本目標の設定

「岡山いきいき子どもプラン 2015」では、結婚、出産は個人の考え方や価値観に関わる問題であり、個人の自由な選択によるものであることを大前提とした上で、県民が望む理想の子ども数を実現する希望出生率の達成を目標の一つとして掲げ、2013(平成25)年度に実施した県民意識調査のデータに基づき、その目標値を2025年までに1.72としました。

新たなプランの策定にあたり、2018(平成30)年度に県民意識調査を実施し、県民の希望出生率<sup>(注1)</sup>を再計算したところ、その値は2.05となりました。希望出生率が、人口を維持できる水準であるとされる、合計特殊出生率2.07に近づいていることから、「岡山県人口ビジョン」(2015(平成27)年10月策定)との整合<sup>(注2)</sup>を鑑み、2040年までに合計特殊出生率2.07を達成することを基本目標とします。

なお、国における「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」(2014(平成26)年12月閣議決定)においても、目指す将来の方向として、我が国の人口の推移と長期的な見通しについて、2040年に合計特殊出生率2.07程度まで上昇した値を用いて推計しています。

### (2) 主要指標の設定

「岡山いきいき子どもプラン 2020」では、主要な事業・施策に主要指標を設定して、進捗状況を点検・評価します。

(注1) 希望出生率=(有配偶者割合×夫婦の予定子ども数+独身者割合×独身者のうち結婚を希望する者の割合×独身者の希望子ども数)×離死別等の影響

(注2) 「岡山県人口ビジョン」では、目指すべき将来の方向(結婚・出産・子育てに関する希望実現等)を達成することで、2040年に合計特殊出生率2.07が期待できるとしている。

## I 結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境の整備

項目	現状	目標	担当課
20～34歳婚姻率	36.17 (H30)	38.0	子ども未来課
平均初婚年齢	30.1歳(夫) (H30)	現在より 低下	子ども未来課
	28.7歳(妻) (H30)		
出生数に占める第3子以降の割合	18.8% (H30)	20%	子ども未来課
妊娠と年齢の関係について 正しく知っている県民の割合	52.4% (H30)	70%	健康推進課
おかやま出会い・結婚サポートセンターが 関わった成婚数	93組 (H31.3)	500組	子ども未来課
妊娠・出産に満足している者の割合	81.3% (H30)	85%	健康推進課

## II 乳幼児期における教育・保育の充実

項目	現状	目標	担当課
ももっこカード(おかやま子育て家庭応援 カード)の新規協賛店舗数	84店舗 (H30)	年100店舗	子ども未来課
子育てが楽しいと感じている(「いつも楽しい」、 「楽しいと感じるときの方が多し」)人の割合*	65.6% (H30)	75%	子ども未来課
保育士・保育所支援センターが関わった 保育所等への就職者数	87人 (H31.3)	520人	子ども未来課
ファミリー・サポート・センター実施 市町村数(市町村間の相互利用を含む。)	21市町 (H31.3)	24市町村	子ども未来課
子育て支援員育成数(子育て支援員(地域型保育、一時 預かり、地域子育て支援拠点で従事)研修修了者の数)	414人 (H31.3)	1,200人	子ども未来課

※ 5年に1回実施する県民意識調査により把握するもの。

## III 子どもと若者の成長を支援する環境の充実

項目	現状	目標	担当課	
将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合	小学校6年生	65.9% (H30)	71%	義務教育課
	中学校3年生	44.1% (H30)		
公立高等学校(全日制)における インターンシップ参加生徒率	28.4% (H30)	34%	高校教育課	
不読率 (1ヶ月の読書数が0冊)	小学校	5.9% (H27)	3.0%	生涯学習課
	中学校	17.2% (H27)	8.6%	
	高等学校	29.9% (H27)	15.0%	
放課後児童クラブ実施か所数	583か所 (H30)	705か所	子ども未来課	
放課後児童支援員等資質向上研修修了者数	476人 (H31.3)	1,400人	子ども未来課	

## IV きめ細かなサポートが必要な子どもや家庭への支援

項目	現状	目標	担当課
里親等への委託率	24% (H30)	40%	子ども家庭課
子ども家庭総合支援拠点設置市町村数	2市 (H31.3)	25市町村	子ども家庭課
自立援助ホーム設置か所数	4か所 (H30)	8か所	子ども家庭課
新たに開設された子どもの居場所の数	—	30か所	子ども家庭課
発達障害のある子どものための子育て支援プログラム導入市町村数(岡山市を除く)	13市町村 (H31.3)	17市町村	障害福祉課

## V ワーク・ライフ・バランスと子育てにやさしい環境づくりの推進

項目	現状	目標	担当課
おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定数	—	150社	子ども未来課
平日に19時までに帰宅する父親の割合※ <sup>1</sup>	43.0% (H30)	60%	子ども未来課
男性の育児休業取得率※ <sup>2</sup>	5.4% (H30)	8%	男女共同参画 青少年課
6歳児で麻しん・風しんの予防接種を行っている割合	麻しん96.0% (H30)	95%以上	健康推進課
	風しん96.0% (H30)		
ももたろう交通安全クラブ設置率	68.1% (H30)	70%	くらし安全安心課
子ども110番セーフティコーン設置校数	257校 (H30)	300校	くらし安全安心課

※<sup>1</sup> 5年に1回実施する県民意識調査により把握するもの。

※<sup>2</sup> 3年に1回実施する「仕事と家庭の両立支援に関する調査」により把握するもの。